

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 30 年度

1 施設の概要

指定管理施設 (施設所管課)	稲美町立憩いの館等 (教育政策部 生涯学習課)
指定管理者	NPO 法人 いなみ野万葉の森の会 代表者氏名 鷲野 隆夫
指定管理期間	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
指定管理委託料	7,835,000 円 (平成 30 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実 績	自己評価	
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館日数 ・ 開館時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 306 日 (憩いの館) ・ 9:30～17:00 (7 月～9 月) ・ 9:30～16:00 (10 月～6 月) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶事業は 152 日、本年度合計 10,681 名の来客があり、12 月 21 日より喫茶事業閉館のために、町内外の方から高い評価を受けていたが、おしまれる声が多く出た。1 月～3 月の間は役員で開館した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託事業、自主事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの館管理 ・ 芝生管理 ・ 薬剤散布 (年 2 回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶の開店日の朝夕の清掃及び清掃業者による年 2 回の大掃除により、館を良好に保っている。 ・ 芝生管理については、1 年間を通して業者委託をし良好に保っている。 ・ 森全体の薬剤散布は、特にカゲラ虫、うどんこ病をおさえる効果がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの回答者から大変満足との回答が多くあり、高い評価を受けている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春と秋には特に来園者が多く、来園者が求める花の場所への案内や万葉植物の説明に評価を得ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他 (特記事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 万葉の森の会 30 年の記念式典を 3 月 31 日に挙行了。特に森内の環境整備が整った 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひょうご地域創生交付金により森内園路、東屋、数寄屋風の門整備ができ森全体が綺麗になった。
施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃 (憩いの館) ・ 植栽等管理(シルバー) ・ 警備 ・ 修繕 憩いの館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 2 回 ・ 週 3～4 日 ・ 毎日 ・ 障子の張り替え 8 枚 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃業者による年 2 回の清掃及び、喫茶開店日に行う朝夕の清掃により清潔に保っている。 ・ 森全体の清掃及び植ます内の散水、除草等を行うことで森全体が綺麗になっている。 ・ 西日本警備保障 (株) (H30.11～東洋テック) に年間の警備を委託している。毎回の状況を書面により報告を受けている。特に問題ありません。 ・ 修繕が必要な所があれば即対応している。

施設維持 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 剪定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松 12本 ・ シヤシャンボ 1本 ・ シダレウメ 1本 ・ 梅（赤） 1本 ・ 梅（白） 2本 ・ マンサク 4本 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年松の剪定及び他の樹木の葉刈を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高、中、低木の選定 ・ 倒木伐採 ・ 枯木伐採・除去 ・ 枝抜き ・ その他（特記事項） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの館周辺 1式 ・ 池の流れ落ち両側 1式 ・ 松 1本 ・ サクラ 1本 ・ コナラ 1本 ・ 池の泥さらえ ・ 水中ポンプ修理 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きくなりすぎた、ヒノキ・スギ等を間伐及び枯松の伐採は昨年によくを行い今年は減少、その他、枯枝の除去、枝抜きを行った。 ・ 森の会有志により実施している。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14,972人 (年間総合計) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶の来客数の増加傾向であったが閉館により減少。リニューアル工事等で減少（内訳 喫茶 10,158人 森 4,814人）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設稼働率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日平均48.9人の利用がある 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ リニューアル工事等で減少 12月21日からは喫茶閉店で減少
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理料を有効かつ効果的に支出した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの館及び万葉の森内の施設の維持管理に効果が出ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経費削減等の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の会員による取組み 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植えます等の管理（種まき、植栽等）、池の泥さらへ・ポンプ修理水生植物の世話
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局 1人 ・ 受付事務 3人（交代） ・ 管理事務 1人 ・ 喫茶：花いちりん 6人（交代） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO事務局、資料館受付、会計事務等問題なく処理出来ている。 ・ 1月～3月は役員交代で、憩いの館の当番を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務時間外の連絡網により対応している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題なく機能している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情要望等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 即対応を心掛けている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に問題ありません。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の保護及び情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の保護については万全の注意を払っている。 ・ 情報公開については、インターネットで配信している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森内の花だよりをもっと充実させたい。 ・ 万葉の森だより年2回の発行の継続。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他（特記事項） 			
総合評価			A	<ul style="list-style-type: none"> 関係者の努力により、森内環境整備及び憩いの館の管理運営ともに問題なく推移している。 アンケートより憩いの館、森内の環境についても高い評価を得ている。

3 施設所管課による一次評価

総合評価	B
------	---

万葉の森内にある樹木の生長に伴う万葉植物の生育環境を取り巻く変化に対して、継続的に間伐、枝打ちを行っており、適正な維持管理を図りながら、創意工夫により利用者の増加を図っていた。

改善を求めているアンケート実施方法等の再検討や喫茶事業会計の明確化については、有効かつ具体的な提案がされることはなかった。町を代表する万葉文化の薫る憩いの場として、ホームページを積極的に活用した住民周知の取り組みについては、まだまだ努力の余地があった。

4 内部検討委員会による評価

総合評価	B
------	---

管理運営については、おおむね協定書通りに行われていて適正である。

平成 30 年度末で施設管理を辞退されたが、おおむね良好に施設の管理が行われていたことは評価できる。コミュニティビジネスの活用により利用者が増加し、施設の活性化につながっていたことは評価したい。アンケートの回答者数が少なく協力依頼や回収方法など、一層の工夫が必要であったと思われる。